



FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL: 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL: 054-647-2300
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org FAX: 054-647-2040



2016-2017年度 R1テーマ
人類に奉仕するロータリー

会長:鈴木 舜光 副会長:大長 昭子 幹事:島村 武慶 副幹事:大塚 高弘

第2152回 ♪ソング…我等の生業 ♪ソングリーダー…大塚 高弘君

会長報告

鈴木 舜光君

＝ガバナー公式訪問の話（櫻井先生見舞い）＝

最初に 私事で申し訳ありませんが先日の 母のお通夜・葬儀には大勢の会員の皆様にご焼香を頂きましてありがとうございました。



又 霊前には 過分なるお香典まで 頂戴し それに 帳場までお手伝いをして頂きました事 重ねてお礼申しあげます。ありがとうございました。6日の ガバナー公式訪問には 大勢の会員の皆様に参加していただきまして ありがとうございます。

例会の前に 会長・幹事会がありまして 研修リーダーの松葉隆夫さん 45周年記念大会実行委員長の大塚博巳さんにも 同席して頂きました。藤枝クラブの大きなメインとなる 産業大学における 冠講座45周年記念事業の件 等の行事のお話しをさせて頂きました。

ガバナー側からは 米山財団の1人の金額を150ドルを目指して下さい。

財団の100周年記念イベントが 11/27に東京の JP タワーであること 100周年を記念して 公共イメージ向上協力金として 任意ではあるが 1人250円以上を お願いしたいとのことでした。

それと マイロータリーの登録を 藤枝クラブは 3人しかしていないので もっと宣伝をして登録して下さい。

また ロータリーカードの取得も 3人なので もっと多くの人に 取得してもらいたいとの希望がありました。以上が 会長・幹事会の報告

ですが お金の話・寄付等の話が 多かったように感じました。

それから

7日に 櫻井先生のお見舞いに 幹事の島村君と 行ってきました。今は 救急病棟にいましたが 検査の結果が良ければ 一般病棟に移れるそうです。皆様に宜しくとの事でした。

幹事報告

島村 武慶君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より ハイライトよねやま 198 が届きました。
- ・8/24・8/31 例会で集めました緑の募金 (24,850円) は 9/7 に藤枝市役所花と緑の課にお届けしました事を御報告させて頂きます。

出席報告

土屋 富士子君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
35/42 83.33%	35/42 83.33%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

- 石垣君 ○大杉君 ○落合君 ○櫻井君
- 仲田晃君 ○松葉隆君 玉木君

(2)メイクアップ者

- 松葉 真彦君(米山・藤枝南) 村松 繁君(藤枝南)
- 鈴木 透君(藤枝南) 鈴木 邦昭君(藤枝南)
- 大長 昭子君(藤枝南)

スマイルBOX

土屋 富士子君

- ・誕生祝いありがとうございます。1932年9月5日生まれ猿年・年男、健康でいられるのも皆様方のご支援の賜物、今後共よろしくお願ひ申し上げます。御礼とさせていただきます。

杉山 静一君

- ・お誕生日をいつも祝って頂きありがとうございます。57才になりました。ビミョウな年ごろですが、これからもよろしくお願い致します。 松田 真彦君
- ・誕生日祝をありがとうございました。 柳原 寿男君
- ・お祝い有難うございました。 仲田 廣志君

スマイル累計額 40,000円

■ 会員卓話

『長期投資が持つ
可能性』
村松 繁君



藤枝市千歳に昭和37年9月生まれました。新地の風情が残る場所で幼少期を過ごし、三味線の音を聞きながら勉強したことを覚えています。大学卒業後、家業のパン屋を継ぎますが、組織で働きたいという思いが強くなり、大日本印刷株式会社に中途入社。そのとき、静岡新聞社出版局で働いていた、江崎晴城さんと出会います。その後、ソニー生命保険に転職。ある社長様に保険の提案をしました。30年間保険料を支払うと、ほぼ100%戻り率がある保険でした。しかし、社長様からは、インフレについての考慮が足りない指摘を受けます。インフレに対応するということは、何を意味するのかを考えるきっかけとなり、その後は海外の株式での運用を組み込んだ提案を徹底して行うことにしました。さて、現在の日本は増え続ける社会保障費が大きな負担となっています。年金制度もそのひとつで、政府は公的年金に頼らない、自助努力で老後所得を生み出すことを国民に呼びかけています。その制度として、国は確定拠出年金という制度を登場させました。大幅な節税効果がありますが、自己責任で運用するという高いハードルも存在しています。確定拠出年金をうまく使いこなすには、節税効果を確認するとともに、どのように運用していくかというノウハウが必要になります。過去、30年間の日本の株式市場のデータであるTOPIXと、日本を除く世界の先進国の株式市場のデータであるMSCIコクサイのデータを比較

すると、驚くべきことがわかります。日本の株式市場は30年間で32%しか上昇していませんが、日本を除く先進国の株式は約900%もの上昇を記録しています。先進国の中で株式市場の足を引っ張り続けている唯一の国家、日本に私たちは住んでいるのです。

2000年ごろから、16年間にわたって世界の株式市場を運用対象としてお客様にご案内してきた、日本ではほぼ唯一の経験値を持つ、保険アイマークのノウハウと、今までに無いほどの節税効果と運用期間中非課税の複利運用を実現する確定拠出年金をミックスすれば、地域市民の老後の不安をぬぐい去ることが出来、それが地域の消費の活性化につながると信じています。このノウハウを広めることが、現在の保険アイマーク、そして村松繁の責任だと考えています。

8月のお祝い おめでとうございます！



(担当／江崎晴君)